

「簡易乱視軸確認表の使い方」

1. はじめに利き目(ききめ)の確認をします。

[利き目=ファインダーを覗く側の目です]

- 1) 両腕を伸ばし、親指と人差指で小さな三角形の空間を作ります。
その空間から両目をあけたままで目標物を見ます。
- 2) 片目ずつ閉じた時、目標物が見えている側が利き目です。

2. 簡易乱視軸確認表の設置

簡易乱視軸確認表(放射状の点線表)の中心を、目の高さにシワにならないように平に貼ります。

※ 後方から光が入る窓ガラスがおすすめです。(透過光)

3. 乱視の有無の簡易判定

- 1) 簡易乱視軸確認表が薄っすらボヤケるくらいの距離(3m程)まで離れます。
- 2) 両目を開き(裸眼で)利き目で観察します。(片目は閉じずに遮蔽して下さい)
- 3) 徐々に乱視確認表に接近し、放射状の点線のいずれかの点線(1~3本程)が、他の点線に比べて少しでも濃く(クッキリ・つながり気味に)見える点線を確認します。(この時、濃く見える線の直交方向は薄く点線に見えます)
- 4) 隣接した複数本の点線が濃い場合は、その中央の角度が一番濃く見えます。
- 5) 特定した点線の外周()が無い数値の角度に乱視があると判定出来ます。

注: 近すぎる距離や、目を細めて観察すると不正確または判別しにくくなります。
必ず全体がボヤケる距離から少しずつ近づきながら確認してください。

.....
: お持ちいただいた愛機に、アジャスティグマを実際に装着して
: 感動を体感いただける受注相談会を開催しております。

: (完全予約制)

: 詳しくは、取扱店スタッフまでお問い合わせ下さい。
.....



UP

